

みなさんこんにちは。校長の近藤でございます。本日はお忙しい中お越しいただきありがとうございます。

さて、5月も半ばになり、初夏を感じさせる季節となりました。

昨年来コロナウイルス感染症の拡大により、生徒は不便な生活を強いられましたが学校の意図をよく理解して新生活のルールを守ってくれました。

新聞等の報道にありましたように5月24日月曜日から自宅で待機する生徒のためにオンラインでの授業ができるように備えることになりました。これは自宅での学習を強制するものではありません。人の流れを止めるとともに、感染した場合や濃厚接触者となった場合やPCR検査の結果を待つ期間、感染の恐れがある場合に備えるための手立てです。本校においては6月1日までの期間、全学年対面授業を実施します。自宅待機をしなければならない事態が起き、対面授業が受けられない場合などには保護者の方から学校までご連絡ください。また部活動についても校内での練習等は可能ですし、公式戦がある場合の参加は認められます。ご心配をおかけしますが、感染防止のため全県的な取り組みとして県教育委員会の指示で、実施するものです。ご理解とご協力をお願いします。

昨年度の卒業生は国公立大学4名、公務員試験2名、就職率100%を達成してくれました。「小規模校の特性を生かして、個々に応じた温かい指導をします。」という学校目標を立てています。これを達成するため、本年度も英語・国語・数学などの教科指導や、小論文・面接等の受検関連の科目の個別指導を丁寧に行っています。

これまでご支援いただいていた、PTA・廿日市市・同窓会・地域・企業の方々の期待に応えられるよう学校運営に努めます。

保護者の皆様と足並みを揃え、大人としてアドバイスをし、間違った方向に向かっているときは、「いけないことはいけない」と正しい道に導いていきたいと思えます。時には厳しくまた時には寄り添う形で指導を行って参りますので理解ください。

その意味におきまして本日の総会並びに、クラス懇談は両者の連携を密にし、お互いの意思の疎通を図る絶好の機会であると思えますので本日はよろしくお願ひします。